

Hello! FUJISEI

No.261

介護や医療のリスクが高まる老後

高齢者世帯の現実 単独世帯が半数！

「長寿」という言葉とは裏腹に、加齢と共にリスクが高まる医療・介護などの問題にどう対処するのか、長くなった老後の生活には多くの課題が待ち受けています。頼ることができる家族はいるのか、一人で暮らさなければいけないのか、その生活状況によってもあらかじめ準備しておくべき方は異なります。

厚生労働省の「平成26年 国民生活基礎調査の概況」によると、平成26年6月5日現在における我が国の世帯総数は5043万1千世帯でした。

世帯構造別にみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が1454万6千世帯（全世帯の28.8%）で最も多く、次いで「単独世帯」が1366万2千世帯（同27.1%）、「夫婦のみの世帯」が1174万8千世帯（同23.3%）となっています。

世帯類型別にみると、「高齢者世帯」（65歳以上の者のみで構成するか、これに18歳未満の未婚の者が加わった世帯）は1221万4千世帯（全世帯の24.2%）でした。

また、65歳以上の者のいる世帯は2357万2千世帯（全世帯の46.7%）となっています。

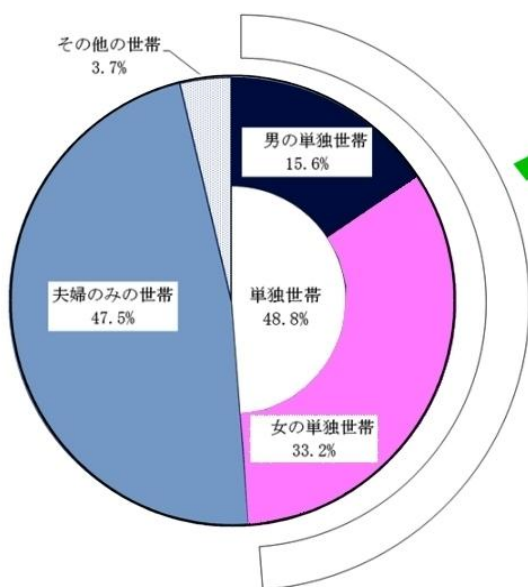
これを世帯構造別にみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が724万2千世帯（65歳以上の者のいる世帯の30.7%）で最も多く、次いで「単独世帯」が595万9千世帯（同25.3%）、「親と未婚の子のみの世帯」が474万3千世帯（同20.1%）となっています。

65歳以上の者のいる世帯のうち高齢者世帯の世帯構造をみると、「単独世帯」が595万9千世帯（高齢者世帯の48.8%）、「夫婦のみの世帯」が580万1千世帯（同47.5%）でした。

「単独世帯」について、性・年齢階級別にみると、男性は「65～69歳」が33.5%、女性は「70～74歳」が22.6%で最も多くなっています。

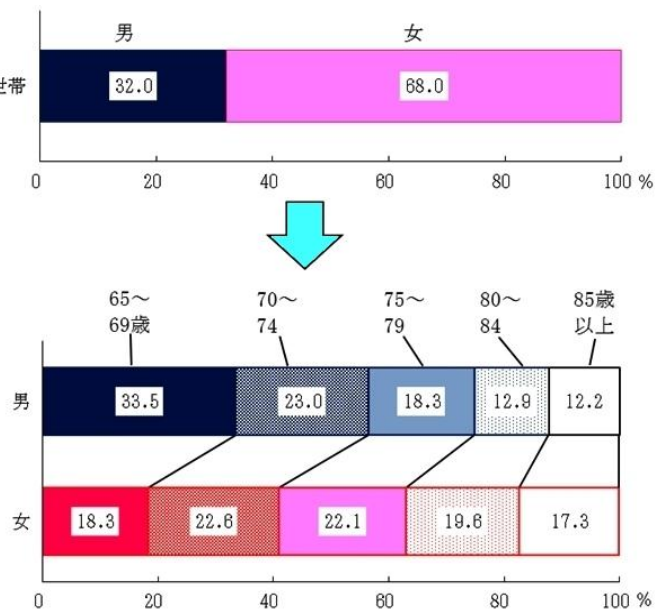
これを世帯構造別にみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が724万2千世帯（65歳以上の者のいる世帯の30.7%）で最も多く、次いで「単独世帯」が595万9千世帯（同25.3%）、「親と未婚の子のみの世帯」が474万3千世帯（同20.1%）となっています。

世帯構造別にみた高齢者世帯数の構成割合



注：「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世帯世帯」を含む。

性・年齢階級別にみた65歳以上の者の単独世帯数の構成割合



厚生労働省「平成26年 国民生活基礎調査の概況」

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル